

か

し

かしま 観光戦略 プラン Ver.4.0

し

KASHIMA CITY

ま

佐賀県鹿島市
令和8年4月

目次

- 沿革P 1
- 基本理念P 2
- 戦略1P 3
地域の魅力をじっくり味わうスロートーリズムの推進
- 戦略2P 5
肥前鹿島駅を観光と暮らしの玄関口に
- 戦略3P 7
地域みんなで育てる稼げる観光
- 戦略4P 9
国内外への戦略的プロモーション
- 戦略5P11
環境・文化を守る持続可能な観光
- 用語解説P13
- かしま観光戦略会議 委員名簿.....P16

沿革

- かしま観光戦略プラン 平成 21 年度～平成 25 年度
- かしま観光戦略プラン Ver.2 平成 26 年度～平成 31 年度
- かしま観光戦略プラン Ver.2.1
インバウンド急増、社会情勢の変化などに対応するため、平成28年度に必要な見直しを実施
- かしま観光戦略プラン Ver.2.2 平成 31 年度～令和 2 年度
鹿島市の最上位計画である「第六次鹿島市総合計画(平成 28 年度～令和 2 年度)と足並みをそろえるため、Ver.2.1 の見直しを実施し、期間を令和 2 年までに改める。
- かしま観光戦略プラン Ver.3.0 令和 3 年度～令和 7 年度
- かしま観光戦略プラン Ver.3.1
「第七次鹿島市総合計画(令和 3 年度～令和 7 年度)」の改訂に合わせ、令和 5 年 9 月に必要な見直しを実施。
- かしま観光戦略プラン Ver.4.0 令和 8 年度～令和 12 年度

基本理念

◆ 「鹿島らしさ」で訪れる人を魅了する旅へ

鹿島ならではの豊かな自然・文化・食・暮らしを活かし、訪れる人が心から「素晴らしい」と感じる観光地の形成を目指します。

◆ 市民が主役の「スローツーリズム」

市民一人ひとりが、鹿島の魅力の語り手となり、訪れる人と温かい交流を育む「スローツーリズム」を推進します。訪れる人も暮らす人も笑顔になれる、活力に満ちた地域の実現を目指します。



戦略 1

地域の魅力をじっくり味わうスロートーリズムの推進

- 鹿島ならではの自然・文化・食・暮らしを「ゆっくり味わう旅」として体系化し、滞在時間と再訪率を高めます。
- 地域の日常に触れる旅を提供し、観光客が地域の暮らしに溶け込み、感動を共有することで、鹿島への愛着を育み、リピーターの増加を図ります。

◎具体的な施策

鹿島の自然・文化・食・暮らしを磨き上げ、ゆっくり滞在しながら地域の魅力を感じられる仕組みを整えます。

- ・地域の自然、文化、食、暮らしを整理し、体験メニュー化を支援します。
- ・体験プログラムを束ねた「スロートーリズム・ブランド」を確立します。
- ・観光統計・来訪データの分析・共有により、滞在型観光へのシフトを促進します。

☆暮らしの中でできること

鹿島の観光は、特別な取り組みではなく、日々の暮らしのなかから始まります。まちなかの風景や地域の人とのふれあいが、訪れる人にとって大きな魅力となります。

- ・鹿島のまちを歩いて、季節ごとの風景やまちの変化を感じてみよう。
- ・自分の暮らしやご近所の風景、伝統行事、特産品などを紹介できるようになろう。
- ・観光客がまちで迷っていたら声をかけてみよう。小さな交流から始めてみよう。
- ・鹿島の風景を美しく保つために、自宅周辺の清掃や環境美化活動に参加しよう。



戦略2 肥前鹿島駅を観光と暮らしの玄関口に

- 肥前鹿島駅を「観光の出発点」かつ「地域の交流拠点」と位置づけ、市内および、近隣市町への回遊を促進します。
- 肥前鹿島駅を、観光客と地域住民が自然に交流する場として機能させ、にぎわいと魅力のある玄関口を形成します。

◎具体的な施策

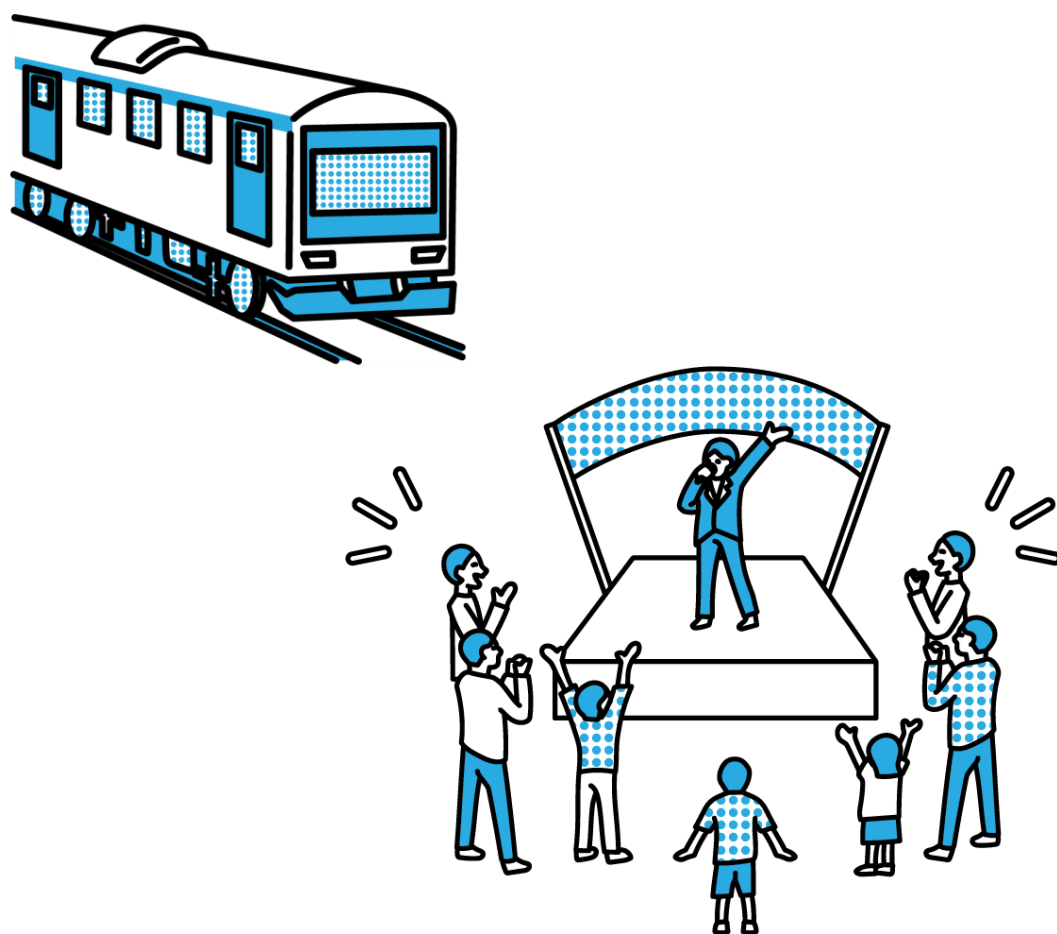
新しい肥前鹿島駅を、観光と暮らしをつなぐ“まちの交流拠点”として育て、来訪者と地域が自然に交わる環境を整えます。

- ・ 駅舎整備を担う佐賀県、新駅舎の運営事業者、地域関係団体等と連携し、観光と暮らしをつなぐ交流拠点づくりを進めます。
- ・ 駅からの二次交通（バス、タクシー、レンタカー、レンタサイクルなど）をつなぐ仕組みを工夫し、利便性向上を図ります。
- ・ 観光案内のエキスパートを育成し、駅とまちをつなぐおもてなし体制を整備します。
- ・ 自家用車やレンタカーで訪れる観光客も滞在しやすいよう、駐車環境や案内表示の充実を図り、快適な回遊を支援します。

☆暮らしの中でできること

駅はまちの“顔”です。観光客と地域の人が自然に出会い、笑顔が生まれる場所にしていくには、日常のちょっとした関わりが大切です。

- ・ 電車、バスに乗って、公共交通の便利さ、課題を実感してみよう。
- ・ 「ひろばのたね」で開催されるイベントに参加したり、企画したりしてみよう。
- ・ 観光ボランティアガイド養成講座を受講し、地域の案内人として活動してみよう。



戦略3 地域みんなで育てる稼げる観光

- 観光が地域経済の持続的な柱となるよう、住民が主体的に収益を上げられる仕組みを整えます。
- 住民は、観光客を「もてなす側」ではなく、観光を「つくりだす側」として主体的に関わります。

◎具体的な施策

地域に眠る資源を活かし、小さな観光ビジネスや体験づくりを支援して、地域全体で収益を生み出す仕組みを広げます。

- ・ 空き店舗等を活用した出店やコミュニティ施設の設置を支援し、地域資源を有効に活用します。
- ・ 観光協会や商工会議所と連携し、事業者間のネットワークづくりを支援します。
- ・ 世代や立場を問わず、多様な人が観光を通じて地域に関わるきっかけづくりを進めます。

☆暮らしのなかでできること

観光はまち全体の取り組みです。お店を開く人も、訪れる人を迎える人も、みんなが少しずつ関わることで、地域の経済が元気になります。

- ・ガタリンピックや酒蔵ツーリズムなどのイベントに参加して、まちの魅力を再発見しよう。
- ・イベントや地域行事の運営を手伝ってみよう。
- ・買い物や食事のときに、地元の特産品やグルメを積極的に選ぼう。



戦略4 国内外への戦略的プロモーション

- 鹿島の魅力をターゲットごとに訴求し、効果的な誘客を図ります。
- デジタルと紙媒体を組み合わせ、世代や目的に応じた情報発信を推進します。

◎具体的な施策

ターゲットに合わせて情報を届ける仕組みを整え、鹿島の魅力を効果的に発信します。デジタルと紙媒体を組み合わせ、幅広い層に訴求します。

・年齢層や目的に応じて、SNSや動画などのデジタル発信に加え、パンフレット等の紙媒体の充実を図り、幅広い層に情報を届けます。

・海外プロモーションを佐賀県、佐賀県観光連盟、鹿島市観光協会等と連携して展開します。

・WET（肥前路南西部広域観光協議会）をはじめ、県内外の市町や観光団体等と連携し、広域的な観光ルートやテーマ別の周遊企画を共同で発信し、地域間の回遊性を高めます。

・メディアやインフルエンサーによる体験型プロモーションを活用し、地域の魅力を効果的に発信します。

☆暮らしのなかでできること

鹿島の魅力を一番よく知っているのは、市民の皆さんです。日常の中で見つけた風景や出来事を発信することが、最高の観光PRになります。

- ・ 鹿島の何気ない日常や隠れた魅力を、写真や動画で SNS に投稿しよう。
- ・ 観光客に、お気に入りスポットやおすすめグルメを紹介してみよう。
- ・ イベントやマルシェにボランティアとして参加し、まちの魅力を伝えよう。
- ・ 近隣市町のイベントにも参加して、広域観光を盛り上げよう。



戦略5 環境・文化を守る持続可能な観光

- 地域資源の保全と観光活用の両立を目指します。
- 自然環境や歴史的文化財に過度な負担をかけることを防ぎ、鹿島の魅力を将来にわたって維持・発展させます。

◎具体的な施策

鹿島の自然や文化を守りながら、観光と共存できる形で未来へつなぐ取り組みを進めます。

・自然共生サイト「ななうら干潟とめだかの里」や多良岳などの環境保全活動を観光コンテンツとして活用し、環境保全と観光客増の両立を目指します。

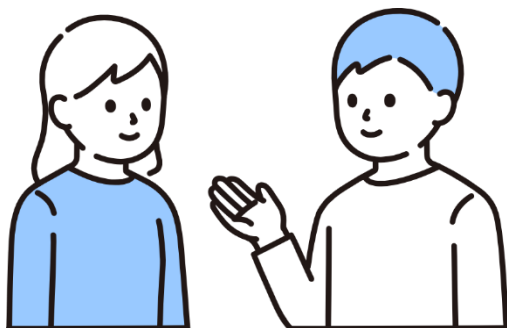
・環境に配慮したイベント（フードロス削減、地産地消、公共交通の利用など）を推進します。

・地域の伝統行事や伝承芸能の維持・継承に取り組む団体や地域活動を支援し、文化の継承を促進します。

☆暮らしのなかでできること

鹿島の自然や文化は、市民一人ひとりの手で守り、未来へとつないでいく宝です。身近な活動の積み重ねが、持続可能な観光につながります。

- ・地域の自然や文化財を守る活動に参加しよう。
- ・鹿島の伝統行事や文化財に関する歴史を学ぼう。
- ・「鹿島らしい風景や暮らしを残すこと」が観光の力になるという意識を持とう。



用語解説

市民

鹿島市に関わるすべての人を指す。住民、通勤・通学者のほかにも、出身者、鹿島市にゆかりのある人など、観光をともに育てるパートナーとしての立場を含む。

戦略プランの中では、「市民=鹿島市に関わる人」「住民=鹿島市に暮らす人」と区分して表現している。

住民

鹿島市内で暮らす人、または日常生活（仕事や学びなど）を送る人を指す。観光の現場づくりに関わる主体。

スローツーリズム

地域の自然・文化・食・暮らしをゆっくりと味わい、地域の人々との交流を楽しむ観光のあり方。

二次交通

空港や主要駅（一次交通）から、観光地や宿泊施設などの目的地まで移動する交通手段のこと。路線バスやタクシー、レンタカーなどが含まれる。

ひろばのたね

肥前鹿島駅前のオープンスペース。肥前鹿島駅周辺整備が完了するまでの期間限定で、日常の交流の場として開放している。人工芝スペース約 430 m²、砂利スペース約 200 m²。

観光ボランティアガイド養成講座

地域の歴史や文化を学び、観光客に魅力的な案内をするための知識とスキルを習得する講座。

コミュニティ施設

地域住民や来訪者が集い、交流・学習・活動等を行う拠点となる施設。地域内外の様々な人が関わる拠点。

WET（肥前路南西部広域観光協議会）

平成21年10月に、佐賀県の南西部に位置する鹿島、嬉野、太良の3つの観光協会で、今後の観光を見据え、魅力ある観光ルートの開発、観光情報の共有化等で佐賀南西部の観光振興に力を入れていくために発足した協議会。

WETとは、鹿島、嬉野、太良の共通イメージ「水」と、広域観光「Wide arEa Tourism」からきている。

インフルエンサー

影響力を持つ人のことを指す言葉。SNS等を通じて発信する情報や意見が、人々の行動や購買に影響を与える人のこと。

自然共生サイト

令和5年度から、民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域を「自然共生サイト」として環境省が認定。令和7年4月に自然共生サイトを法制化した「地域生物多様性増進法」が施行され、生物多様性が豊かな場所を維持する活動や、管理放棄地等において生物多様性を回復・創出する活動も認定となった。

「地域生物多様性増進法」に基づく初めての認定として、令和7年9月に201か所が自然共生サイトに認定された。

「ななうら干潟とめだかの里」

令和7年9月に自然共生サイトに認定。七浦の干潟、音成川ゾーン、周辺の水路、約3ヘクタールが対象区域。ムツゴロウやミナミメダカ、ニホンウナギなどの希少生物の保全活動が認められたもの。

かしま観光戦略プラン Ver.4.0

2026年(令和8年)4月

鹿島市 産業部 商工観光課